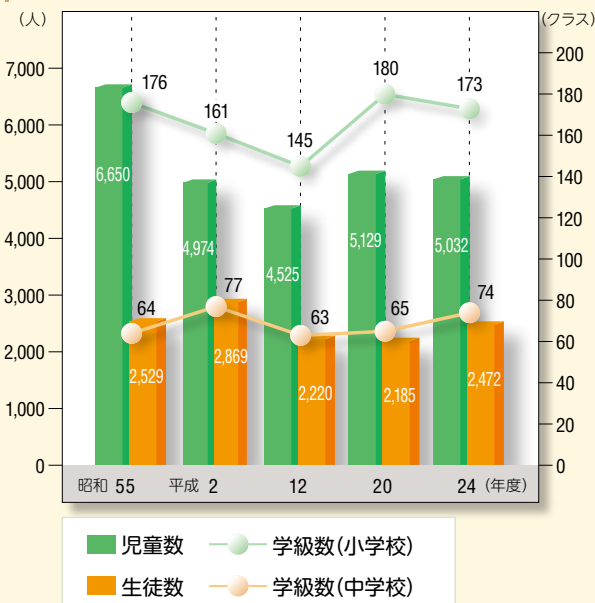


施策2- 1 豊かな心・健やかな体を育む教育の推進

施策をとりまく現状と課題

- 命を大切に、他人を思いやる心を育むとともに、社会的な規律を守ることのできる人材の育成が求められています。
- 学校生活を楽しんでいると感じる児童生徒は高い割合を占めていますが、より子どもたちが心身ともに健康で楽しく学校生活を送ることができるよう配慮が必要です。
- 複雑多様化するいじめ・不登校の実態を把握するとともに、集団のなかで個の良さを認め、可能性を引き出すことができる環境を整備する必要があります。
- 学校給食センターでは、アレルギー対応を含め、安全・安心な学校給食の提供を行うとともに、地産地消*の取り組みなどの食育*事業を行っています。

児童生徒数及び学級数の推移



資料：尾張旭市の教育 (平成24年度)

施策がめざす尾張旭市の姿

学校生活を楽しんで過ごせ、豊かな心と健やかな体が育まれています。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標 1 学校生活を楽しんでいる児童の割合

現状値 (平成25年2月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
97.0%	97.5%	98%

小学生が学校生活を楽しんでいるかを見る指標です。小学校3・6年生を対象に実施するアンケートで、学校生活が3段階評価で「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童の割合です。

指標 2 学校生活を楽しんでいる生徒の割合

現状値 (平成25年2月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
92.9%	93%	94%

中学生が学校生活を楽しんでいるかを見る指標です。中学校2年生を対象に実施するアンケートで、学校生活が3段階評価で「楽しい」「やや楽しい」と回答した生徒の割合です。

成果指標の現状値は高い水準にありますが、施策を展開するなかで、成果の向上をめざします。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
2-1-1 道徳性・社会性の 向上	<ul style="list-style-type: none"> ●道徳性・道徳的実践力が向上しています。 ●不登校となる児童生徒が減少しています。 ●いじめや不登校となった児童生徒・保護者に対して適切な支援ができています。 	行政	●道徳・ルールを守る児童の割合	% 94.8	% 95	% 96	自己決定 健康都市
			●道徳・ルールを守る生徒の割合	% 83.1	% 85	% 88	
			●不登校児童発生率	% 0.26	% 0.24	% 0.23	
			●不登校生徒発生率	% 2.5	% 1.9	% 1.8	
			●いじめ不登校等に関する相談への対応率 (相談件数)	% 100 (9,537) (件)	% 100 (10,000) (件)	% 100 (10,000) (件)	
			●性行不良*の生徒数	人 10	人 0	人 0	
2-1-2 健康教育の推進	●児童生徒の健康が管理され、体力が向上しています。	行政	●肥満度±20%以上の児童の割合(太りすぎ、痩せすぎ)	% 6.4	% 6.0	% 5.5	自己決定 健康都市
			●肥満度±20%以上の生徒の割合(太りすぎ、痩せすぎ)	% 10.8	% 10	% 9.5	
2-1-3 学校教育における 食育の推進	●食に対する基礎知識を習得し、健康的な食習慣が形成されています。	行政	●食育に関する平均実践項目数(児童)(全5項目中)	項目 3.2	項目 3.5	項目 3.8	自己決定 施設運営 健康都市
			●食育に関する平均実践項目数(生徒)(全5項目中)	項目 2.4	項目 2.7	項目 3	

部門別計画

尾張旭市教育振興基本計画（H26～H35）

※尾張旭市教育振興基本計画は、政策2の施策全てに関連する計画です。

用語解説

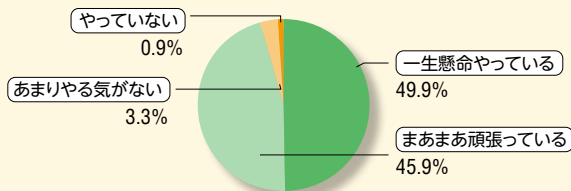
- ※地産地消/地域で生産された農産物等をその地域で消費すること。
- ※食育/食について考える習慣や知識を身につけるための学習等の取り組みのこと。
- ※性行不良/触法行為を行うことや日常の行いが悪いこと。

施策2- 2 確かな学力を育む教育の推進

施策をとりまく現状と課題

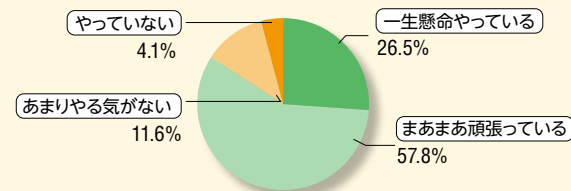
- 児童生徒の基礎学力の定着を図るため、少人数指導をはじめとする個に応じたきめ細やかな教育のほか、自ら学ぶ意欲を高めることが求められています。
- 幅広い学力の育成を図るとともに、国際理解教育、情報教育、環境教育、キャリア教育*、防災教育などの今日的な課題への対応や特色ある学校づくりを行っています。
- 多くの学校施設が大規模な改修時期を迎えており、子どもたちが安全で快適な教育環境で学ぶことができるよう、計画的な施設・設備の維持補修や整備を進めることが求められています。

学習意欲がある児童の割合



資料：小学生を対象としたアンケート（平成24年度）

学習意欲がある生徒の割合



資料：中学生を対象としたアンケート（平成24年度）

施策がめざす尾張旭市の姿

学習意欲をもって授業を受け、確かな学力が育成されています。

施策成果指標（施策の目的達成度を示す指標）

指標 1 指導要録の評定で全教科の評定が2以上である児童の割合

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
90.0%	92%	94%

小学生の学力が定着していることを見る指標です。指導要録の評定を用いて算出します。

指標 2 指導要録の評定で全教科の評定が3以上である生徒の割合

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
55.0%	60%	65%

中学生の学力が定着していることを見る指標です。指導要録の評定を用いて算出します。

指標 3 学習意欲がある児童の割合

現状値 (平成25年2月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
95.8%	96%	97%

小学生の学習意欲を見る指標です。小学校3・6年生を対象に実施するアンケートで、自分の現在の勉強の様子について「一生懸命やっている」「まあまあ頑張っている」と回答した児童の割合です。

指標 4 学習意欲がある生徒の割合

現状値 (平成25年2月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
84.3%	87.5%	90%

中学生の学習意欲を見る指標です。中学校2年生を対象に実施するアンケートで、自分の現在の勉強の様子について「一生懸命やっている」「まあまあ頑張っている」と回答した生徒の割合です。

次代を担う子どもたちが育まれるまちづくりのため、積極的に施策を展開し、成果の向上をめざします。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
2-2-1 学力の定着	● 分かりやすい授業を受け、理解度が高まっています。	行政	● 授業が分かると答える児童の割合	% 94.2	% 95	% 96	自己決定 健康都市
			● 授業が分かると答える生徒の割合	% 77.4	% 80	% 85	
2-2-2 個に応じた きめ細やかな 指導の充実	● 個に応じた支援を行い、成長段階に応じた教育が受けられています。	行政	● 少人数指導授業を受けている児童の割合	% 73.8	% 75	% 80	自己決定 健康都市
			● 少人数指導授業を受けている生徒の割合	% 100	% 100	% 100	
			● 特別な支援を必要とする児童生徒に対する補助員等の対応率	% 42.6	% 72.5	% 75	
2-2-3 特色ある学校 づくりの推進	● 各学校で創意工夫を活かした教育活動が展開され、地域の特性を活かした特色のある学校づくりが進んでいます。	市民 行政	● 地域の特性を活かした特色ある学校づくりが実施されている割合	% 97.2	% 100	% 100	市民協働 自己決定 健康都市
2-2-4 教職員の資質 向上	● 教職員の資質の向上が図られ、児童生徒がより良い指導を受けられています。	行政	● 教職員の研修受講割合	% 100	% 100	% 100	自己決定 健康都市
			● 校内現職研修実施回数	回 11	回 20	回 20	
			● 研修効果があったと感じる教職員の割合	% 93.4	% 94	% 95	
2-2-5 教育環境の整備	● 児童生徒が安全で快適な教育環境で学んでいます。	行政	● 大規模改修工事を完了した学校数の割合	% 8.3	% 41.7	% 66.7	自己決定 施設運営 健康都市
			● 施設維持管理上の不具合による教育支障件数	件 0	件 0	件 0	
			● 通学路上の危険箇所に対する要望への対応率	% 86.4	% 86	% 86	

- 政策1
- 政策2
- 政策3
- 政策4
- 政策5
- 政策6
- 政策7
- 政策8

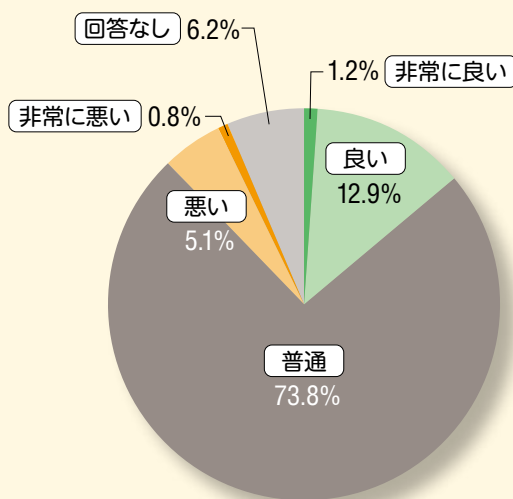
用語解説 ※キャリア教育／社会の変化に対応する力や自己の進路を選択・決定できる力を養う教育のこと。

施策2- 3 総合的な教育連携の推進

施策をとりまく現状と課題

- 児童の安全確保のため、スクールガード*による児童の見守り活動が展開されています。
- 地域教育への理解は得られているものの、参加・協力できる体制が整っていないことから、教育現場に参加できる場、意見交換ができる機会などを増やすことが必要です。
- 高等教育機関との連携に関しては、小中学校や地域と連携した活動を行うことができるよう、市内の大学などと連携に関する協定を結んでいます。
- 経済的に就学困難と認められる義務教育就学児が増加しており、適切な支援が求められています。
- 学校・家庭・地域が相互に情報交換等ができる場や講座の開設が求められています。

あなたは学校・家庭・地域のコミュニケーションが良いと思いますか



資料：平成24年度まちづくりアンケート

施策がめざす尾張旭市の姿

学校・家庭・地域それぞれのコミュニケーションや教育力が向上し、学習環境が向上しています。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標1 学校・家庭・地域のコミュニケーションが図られていると感じる市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
87.9%	90%	90%

学校・家庭・地域の連携が取れているかを見る指標です。まちづくりアンケートで、学校・家庭・地域のコミュニケーションが「非常に良い」「良い」「普通」と回答した市民の割合です。

※「普通」を除いた現状値：14.1%

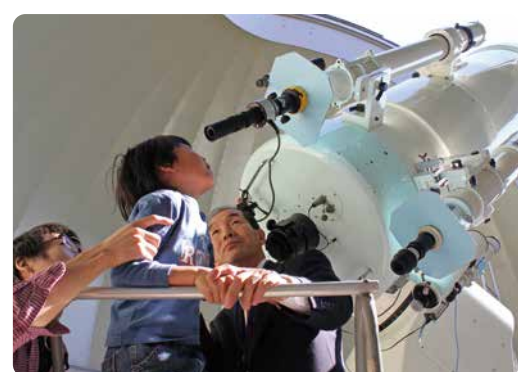
今後も学校・家庭・地域の連携を深め、地域教育力の充実に努めます。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期目標値	後期目標値	まちづくりの進め方
2-3-1 家庭教育力の充実	●家庭教育力が高まり、家庭内で発達段階に応じた教育が適切にされています。	市民 行政	●家庭教育の重要性を理解し行動している保護者の割合 ●家庭教育に関する講座への参加者数(親子天体観測教室の参加者数)	% 39.2 人 2,236 (308)	% 43 人 2,200 (250)	% 45 人 2,200 (250)	市民協働 自己決定 健康都市
2-3-2 地域教育力の充実	●地域での教育活動が活発にされています。	市民 行政	●地域教育活動に参加した市民の割合 ●授業等の支援に参加した人の割合	% 6.9 % 1.1	% 10 % 1.5	% 10 % 1.5	市民協働 自己決定 分野横断 健康都市
2-3-3 学校・家庭・地域の連携	●学校・家庭・地域の交流や教育支援が活発に行われています。	市民 行政	●学校行事への保護者の参加率 ●開かれた学校づくりに対する地域住民の満足度 ●地域からの要望や提案への対応・改善を実践した件数 ●地域活動に参加した児童生徒、教職員の割合	% 65.3 % 65.6 件 57 % 60.0	% 65 % 70 件 50 % 62.5	% 65 % 70 件 50 % 65	市民協働 自己決定 健康都市
2-3-4 就園・就学の支援	●保護者の経済的な負担が軽減され、就園・就学ができています。	行政	●私立幼稚園に就園している満3～5歳児で支援を受けている園児数 ●小学生から中学生までで就学の支援を受けている児童生徒数	人 1,025 人 825	— —	— —	自己決定 健康都市



スクールガード



天体観測会

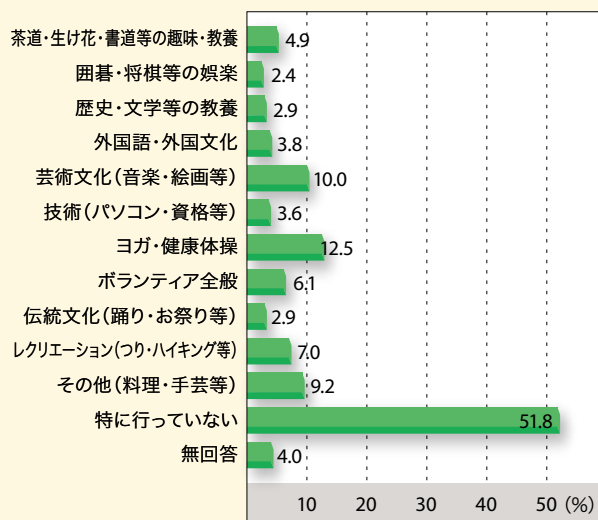
用語解説 ※スクールガード/児童が犯罪などに巻き込まれないよう、校内や通学路などを見回るボランティアのこと。

施策2- 4 生涯学習の振興

施策をとりまく現状と課題

- 市民のライフスタイルが多様化し、生涯学習*のニーズも変化してきています。多くの市民が生涯学習に取り組むきっかけとなるよう、ニーズを捉えた事業を実施する必要があります。
- 高齢者が健康でいきいきとした人生を送り、時代にあった課題にも対応できるような生涯学習メニューの検討が必要です。
- 生涯学習へのきっかけづくりとして、情報を入手しやすくし、多くのかたに興味を持ってもらうことが必要です。行政だけでなく大学や民間の講座や、市民の学習活動の情報提供も求められています。
- 本市の人口規模、ニーズに見合う充実した図書館サービスが求められています。ハード面の整備は、他の公共施設の設置・改修や財政状況を勘案して検討する一方で、子どもの読書活動の推進や調査・研究の援助、読書相談、情報提供などのソフト面の工夫で、市民のニーズに応える必要があります。

あなたは生涯学習として何か習い事や趣味の活動を行っていますか（複数回答）



資料：平成24年度まちづくりアンケート

施策がめざす尾張旭市の姿

生涯学習に多くの人取り組み、彩りある豊かな人生を過ごしています。

「いつでも、どこでも、誰でも」を実現する生涯学習環境が整い、心豊かで生きがいのあるまちづくりが進んでいます。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標 1 生涯学習に取り組んでいる市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
44.1%	46%	48%

市民の生涯学習への取り組み状況を見る指標です。まちづくりアンケートで、「習い事や趣味の活動を行っている」と回答した市民の割合です。

指標 2 生涯学習環境に対する総合的な満足度

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
66.2%	67%	67%

※「普通」を除いた現状値：9.4%

「いつでも、どこでも、誰でも」を実現するための生涯学習環境が整っているかを総合的に見る指標です。

まちづくりアンケートで、講座・施設・情報の提供などについて「満足」「どちらかといえば満足」「普通」と回答した市民の割合です。

市民の生きがいづくりのため、生涯学習に取り組むきっかけとなるよう施策を展開します。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目標達成を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
2-4-1 生涯学習活動の 参加促進	● 市民ニーズに応じた、 様々な生涯学習の機会が 提供され、市主催の講座・ 教室に多くの市民が参加 しています。	行政	● 生涯学習関連の講座・教 室の参加者数 (市主催の参加者数)	千人 82 (38)	千人 85 (38)	千人 85 (38)	自己決定 健康都市
			● 市主催の生涯学習関連の 講座・教室の定員充足率	% 84.6	% 85	% 85	
			● 生涯学習活動に関する機 会の満足度	% 69.0	% 70	% 70	
			● 高齢世代(60歳以上)で 生涯学習に取り組んでい る市民の割合	% 51.7	% 55	% 60	
2-4-2 生涯学習情報の 提供	● 生涯学習に関する情報の 収集、一元的な提供が充 実しています。 ● 市民参加による実施体制 が整っています。	市民	● 生涯学習に関連する情報 提供に関する満足度	% 63.4	% 64	% 65	市民協働 自己決定 健康都市
		行政	● 生涯学習団体リスト登録 件数	団体 112	団体 115	団体 115	
			● 生涯学習教授リスト登録 人数	人 222	人 225	人 225	
2-4-3 生涯学習施設の 利用促進	● 生涯学習に関する施設が 整備され、多くの市民に 利用されています。	市民	● 公民館利用者数	千人 354	千人 357	千人 360	市民協働 自己決定 施設運営 健康都市
		行政	● 生涯学習施設の満足度	% 66.3	% 67	% 67	
2-4-4 読書環境の整備	● 図書館が充実し、多くの市 民に利用されています。	行政	● 図書館の設備・資料の満 足度	% 60.5	% 61	% 61	自己決定 施設運営 健康都市
			● 市民1人あたりの図書館 資料総貸出点数	点 8.1	点 8.2	点 8.5	

部門別計画

● 尾張旭市子ども読書活動推進計画 (H23~H27)

用語解説 ※生涯学習／各人が自発的意思に基づいて、必要に応じ、自己に適した手段、方法を自ら選んで生涯のあらゆる場面で学習のこと。

施策2- 5 文化の継承と振興

施策をとりまく現状と課題

- 平成20年3月に尾張旭市文化振興計画を策定し、文化を通して、生活の向上につなげていくような取り組みを行っています。
- 尾張旭市に伝わる無形民俗文化財^{*}を保護するとともに、若い世代が伝統文化を知り後継者となってくださるよう、その継承と育成が求められています。
- 尾張旭市の伝統文化を知る機会のない市外からの住民が増加しています。歴史や文化に誇りや愛着を持っている市民はまだ4割程度であり、伝統文化に触れることのできる機会の創出に努めます。
- 芸術文化活動に取り組んでいる市民は少ない状況です。芸術文化の鑑賞から成果を発表するなど、主体的な参加へつなげていくことが必要です。

施策がめざす尾張旭市の姿

伝統文化が保存・継承されています。

市民全員が共有できる文化の振興が進んでいます。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標1 伝統文化に誇りや愛着を持つ市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
44.8%	47%	50%

市民が尾張旭市の伝統文化に誇りや愛着を持っているかを見る指標です。

まちづくりアンケートで、尾張旭市の歴史や文化に誇り、愛着を持っているかに「はい」と回答した市民の割合です。

市内の指定・登録文化財

区分	種別	名称	指定・登録年月日	管理、保存団体等
県指定	無形民俗	尾張旭市の棒の手	S33.3.29	尾張旭市棒の手保存会
市指定	有形(彫刻)	木造聖観世音菩薩立像	S56.8.1	庄中保存会
市指定	有形(彫刻)	円空仏(5体)	S56.8.1	庄中保存会
市指定	史跡	印場大塚古墳	S56.8.1	尾張旭市
市指定	無形民俗	尾張旭市の打ちはやし	S58.3.1	尾張旭市打ちはやし保存会
市指定	無形民俗	ざい踊り	S58.3.1	尾張旭市ざい踊り保存会
市指定	有形(工芸品)	井田八幡神社の陶製狛犬	S58.3.1	八幡神社
市指定	有形(建造物)	良福寺山門	S61.2.10	良福寺
市指定	有形(古文書)	織田信雄書状	S61.2.10	良福寺
市指定	有形民俗	狩宿郷倉	H4.5.1	尾張旭市
市指定	無形民俗	尾張旭市の馬の塔	H12.4.1	尾張旭市馬の塔保存会
市指定	天然記念物	長池のメナン・アイナン自生地	H15.10.1	尾張旭市
市指定	天然記念物	吉賀池湿地	H15.10.1	尾張旭市
国登録	有形(建造物)	旭サナック本館 (旧旭兵器製造本社事務棟)	H16.6.9	旭サナック株式会社
市指定	有形(工芸品)	狩宿白山神社の陶製狛犬	H19.4.1	狩宿白山神社
国登録	有形(建造物)	どうだん亭(旧浅井家住宅離れ)	H20.5.7	尾張旭市

※平成25年1月31日現在

資料：尾張旭市の統計

芸術文化の機会・場の提供や、伝統文化の保存・継承のために、積極的に施策を展開します。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
2-5-1 文化財、伝統文化 の保存と継承	<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存活動を通じて、尾張旭市の伝統文化が保存・継承されています。 ●歴史講座等を通じて文化財や史跡への関心が高まり、保存と公開が進められています。 	市民	●文化財の保存活動の参加者数	人 921	人 950	人 1,000	市民協働 自己決定 施設運営 健康都市
		行政	●歴史講座、史跡めぐり等の参加者数	人 140	人 160	人 180	
2-5-2 地域文化活動 団体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が主役となった地域文化活動が行われています。 ●支援組織やボランティアが育成されています。 	市民	●文化協会加入団体数	団体 70	団体 70	団体 70	市民協働 自己決定 健康都市
		行政	●文化活動支援のために組織されたボランティアの団体数	団体 5	団体 6	団体 6	
2-5-3 芸術文化活動の 環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の芸術文化鑑賞・発表の機会と場が提供され、活動が活発に行われています。 	市民	●芸術文化活動を鑑賞・参加している市民の割合	% 46.1	% 50	% 55	市民協働 自己決定 施設運営 健康都市
		行政	●芸術文化活動に関する機会の満足度	% 62.1	% 65	% 65	
			●芸術文化拠点施設(文化会館)の利用率	% 29.4	% 30	% 30	



どうだん亭



棒の手

部門別計画

●尾張旭市文化振興計画 (H20~H29)

用語解説

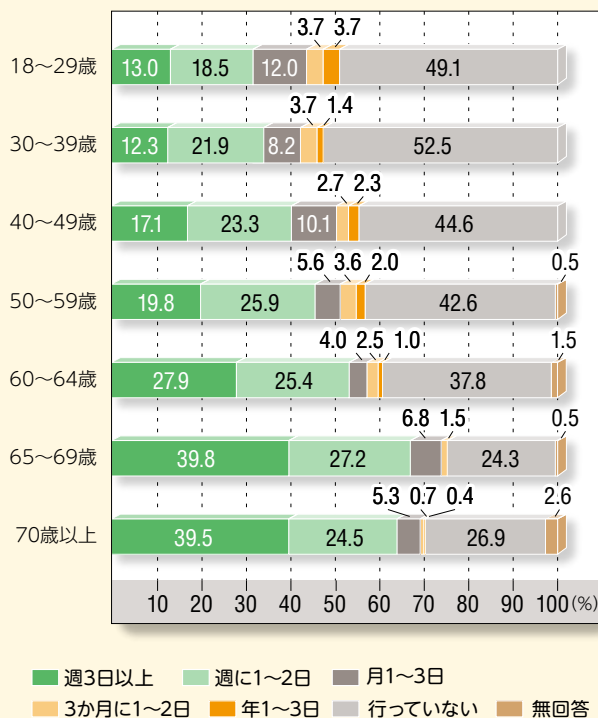
※無形民俗文化財／文化財保護法に基づき国、県、市が指定する文化財で、古くから伝わる風俗、習慣、民俗芸能や物件のうち、無形のもの。

施策2- 6 スポーツの振興

施策をとりまく現状と課題

- 健康志向の高まりにより、スポーツ(運動)をする人が増加しています。
- 半数以上の市民が週1回以上の頻度で運動を行っています。市民の健康増進のためには、ウォーキングや体操など、気軽に始められる運動を紹介していく必要があります。
- 老朽化した施設の利用状況や管理コストなどを踏まえ、今後の施設のあり方について検討する必要があります。

スポーツ活動を行う市民の割合(年齢別)



資料：平成24年度尾張旭市まちづくりアンケート

施策がめざす尾張旭市の姿

スポーツをする市民が増加しています。

施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

指標1 スポーツ活動に親しむ市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
61.3%	63%	65%

スポーツをしている市民の増減を見る指標です。まちづくりアンケートで、「現在スポーツをしている」と回答した市民の割合です。

指標2 スポーツ活動を週1回以上行う成人市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
50.9%	55%	60%

積極的にスポーツをしている20歳以上の市民の増減を見る指標です。まちづくりアンケートで、「週に1回以上スポーツをしている」と回答した市民の割合です。

市民の生きがいづくりのため、市民自らスポーツに取り組めるよう、健康づくりの推進と併せて積極的に施策を展開します。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
2-6-1 スポーツ活動の 参加促進	●市民がスポーツ活動を行う機会が充実し、参加が促進されています。	市民 行政	●スポーツ教室・大会等に 参加した市民の割合	16.7%	18%	20%	市民協働 自己決定 健康都市
			●スポーツをする機会の 満足度	65.1%	68%	70%	
2-6-2 スポーツ団体・ 指導者の育成	●スポーツの活動団体や指導者が育成され、スポーツ活動が活発になっています。	市民 行政	●スポーツ団体数	団体 21	団体 21	団体 22	市民協働 自己決定 健康都市
			●スポーツ推進委員*1人 あたりの市民数	4,097人	3,952人	3,818人	
			●スポーツ指導者養成者数	1,342人	—	—	
2-6-3 スポーツ活動の 環境整備	●スポーツ活動に関する施設や設備が充実し、多くの市民が利用しています。	行政	●スポーツ施設・設備の 満足度	58.0%	60%	60%	自己決定 施設運営 健康都市
			●スポーツ施設の利用者数	506千人	507千人	507千人	
			●学校体育施設開放の利用 者数	105千人	110千人	115千人	



市民ジョギング大会



市民プール

用語解説 *スポーツ推進委員/スポーツの振興を図るため、実技指導や、イベントの企画・運営などの活動をする委員であり、旧体育指導委員のこと。